

ATWS2023 DOA 取材に関わるお願い

<対象コース>

- ・ 道内 PSA は諸事情から取材をお受けできませんので、ご了承ください。
- ・ DOA は全 31 コースのうち、ATTA が認めた特定のコースを対象とします。

<取材者>

- ・ 取材対象 1 コースにつき、受入は 2 社までとします。
- ・ 取材者は基本 1 名とします。テレビなど専門に撮影スタッフがいる場合は 2 名まででお願いします。

<全体>

- ・ ツアーの流れを止めないよう、行程に沿った取材をお願いします。
- ・ 取材のタイミング及び撮影場所は実行委員会・催行地域・催行事業者の指示に従ってください。
- ・ 同行用の車両手配等は承りません。交通手段は取材者にてご用意ください。

<参加者の撮影>

- ・ ツアー参加者には取材が入ることについて事前に承諾を得ていますが、撮影対象者が拒否あるいは不快感を示す素振りを見せた場合には撮影を中止してください。
- ・ 立ち位置やポーズなどのご要望には対応いたしかねます。
- ・ 特定の人だけを長く撮影することはお控えください。
- ・ 参加者の食事風景の撮影は不可、食事の準備や料理の提供シーンの撮影は可とします。

<インタビュー>

- ・ 着席によるインタビューはお受けいたしかねます。立ったまま、短いコメント取材に留めてください（目安は 1～2 分）。

<報道について>

- ・ できる限り事前に報道日、媒体・番組名などをお知らせください。
- ・ 紙媒体の場合は、掲載紙を 1 部実行委員会までご提供ください。
- ・ 映像、ウェブ等の場合は可能であれば URL のご共有をお願いいたします。

※この資料の後ろに、ATTA による撮影ルールの文書がありますので、併せてご確認ください。

お問合せ先

■ ATWS 全体について

ATWS 北海道実行委員会事務局（北海道経済部観光局観光振興課内） TEL 011-206-6944

■ DOA の取材について

北海道観光振興機構 AT 推進部 石橋静枝、フェニックス・スコットニー TEL 011-206- 6951

(参考：ATTA 資料)

ATTA イベントの Adventures における撮影ルールについて（邦訳）

ATTA イベント全てにおいて参加者に質の高い体験をしていただくため、以下のルールを設定しています。基本的に、参加者がアドベンチャー体験を楽しめるよう、邪魔にならないよう目立たない状態での撮影をお願いいたします。

- 撮影のために旅程を変えようとすることはご遠慮ください。定められた行程に沿って撮影してください。
- ツアー催行事業者に対する要望は必要最小限とし、ツアーのオペレーションが煩雑にならないようにしてください。例として、撮影用車両の手配依頼などはおやめください。
- 撮影者は 1 コースにつき 1 名までとします。必要に応じ、撮影者をサポートするためにスタッフ 1 名は参加可能です。
- 被写体ごとに撮影の許可を得て、ご本人の希望を尊重してください。撮影対象者の様子や素振りに配慮し、不快に感じるようであれば撮影を中止してください。
- 参加者を撮影する際は適度な分量でお願いします。自分だけが撮られていると感じさせないよう、複数人あるいは参加者全員を対象に撮影いただきます。
- 参加者が快適に旅行を楽しめるよう撮影をしない時間も設けてください。
- インタビューが必要な場合は、立ったまま、ショットガンマイクを使用したカジュアルで短いインタビュー（1～2 分）にしてください。DOA の性質上、高品質のラヴマイクを使用する正式な着席スタイルのインタビューは時間調整が難しく、旅行の催行を阻害する可能性があります。
- ATTA のストーリーテラーと同じコースを撮影される場合は、イベントの公式取材班であることにご留意ください。ストーリーテラーの撮影者にスペースを譲り、優先的に撮影できるようにお願いします。公式取材班がどの人なのかわからない場合は、ATTA までご連絡ください。
- 参加者が食事をしているところを撮影するのはご遠慮ください。食事の準備や料理を提供するところを撮影するのは歓迎します。
- 撮影した素材の使い方を ATTA と共有してください。

(参考：ATTA 資料 原文)

Filming Rules for ATTA Event Adventures

The following rules are intended as guidance to support the high-quality participant experience during any ATTA events. Overall, we recommend a low-profile filming production that is non-intrusive and prioritizes the participants enjoying their adventure experience.

- Please do not attempt to modify the trip itinerary to adjust for filming needs. The filming will need to adjust to the existing planned itinerary.
- Logistics support from the providing tour operator should be kept to basic requests and should not complicate the excursion for the tour operator. For example, chase vehicles for filming should not be requested.
- No more than one videographer per adventure. One support staff can also join to support the videographer if needed.
- Please ask permission to film each subject and respect the preference of the subjects who are being filmed. Be sensitive to non-verbal cues by the filming subject — if they are becoming uncomfortable, please stop filming them.
- Keep the amount of filming for each participant to a reasonable amount. Each participant should not feel like there is a camera continuously filming them *only*; rather, the filming should be of *many or all* of the subjects on the trip that are willing to be filmed.
- Please allow for some impromptu non-filmed experiences that will allow the trip participants to be comfortable enjoying the trip without filming.
- If interviews are required, please make them casual, short (1-2 minute) standing interviews with a shotgun microphone. Due to the nature of the Day of Adventure, a formal sitting interview with high quality lav microphones will be difficult to schedule and conduct and may detract from the overall trip experience.
- If you are filming with an ATTA storyteller, please note that these are the official videographers for the ATTA event. It will be appreciated to leave space for this staff videographer and allow them to prioritize their shots. If you are unsure who is an official ATTA storyteller, please contact us and we can help clarify.
- Please do not film participants eating their meals — you are welcome to film the preparation and dishes of food as they are served.
- Please share the usage of your filmed material with the ATTA.